

「２０２３さっぽろオータムフェスト」江差町ブースにおける外国産アワビの混入について

大変恐縮でございますが、急遽ご報告したい案件がございますので、お時間をいただきたいと存じます。

マスメディア各社の報道もされておりますが、今年９月に札幌市にて開催されました「２０２３さっぽろオータムフェスト」の催事において、「北海道ハーベスト江差、村上雅文代表」が販売を行った江差町のブースにおきまして、北海道産ではない中国産の商品が混在し、一部販売された事案についてです。

オータムフェストへの出店に際しては、各市町村に募集案内があり、江差町におきましては、毎年、広く町内の事業者に対し、出店にかかる経費などをすべて自己負担していただくことを条件に希望をとって行っておりますが、今年度につきましては、北海道ハーベスト江差のほかに応募がなく、このハーベスト江差を選定しました。町が主催者側に対してイベント出店の申込を行っているため、この度の議会への報告とさせていただくものでございます。

町から主催者側への申し込みにあたっては、役場担当者や事業者の氏名や連絡先のほか、「提供予定商品」の一覧を専用フォームによって報告しています。なお、「メイン食材の産地」「仕入先」などの情報は、町を通さず事業者から直接主催者側に報告する流れとなっております。今回のアワビについては「檜山産」として報告していたとのことです。

具体的な経緯についてご説明いたします。本イベントは、9月8日から9月30日までの間で開催されており、ハーベスト江差はオータムフェスト8丁目会場において出店していました。主催者側からの聞き取りによると、販売期間中の9月12日において販売商品「焼きえぞアワビ」の中に、中国産のアワビが混在し販売提供したもので、主催者側から指摘を受け、9月12日から19日までの期間、営業停止がなされ、20日の朝からは条件付きで販売が再開されたもので、主催者側はもとより購入者にご迷惑をおかけした状況となったものです。

町においては主催者側からの情報が9月12日に担当課に寄せられ、その情報を基に主催者側からの聞き取り、また村上代表からも聞き取りをおこなっているところであり、村上代表からは、「オータムフェスト用のアワビと東京店舗で使用する商品が保管している倉庫内で混在し、発送段階でのチェックミス、また出店販売場所での開封チェックを怠ったことから中国産の商品が混在し提供してしまった。12日に販売した7、8人で、15個くらい」という報告を受けております。主催者側からは、イベント開始日の8日から12日までに約300個のアワビが販売されていると聞いており、町では現在、15個以外のアワビが檜山産だったことを証明することをハーベスト江差に求めています。また、ハーベスト江差には、購入者や主催者に対して誠心誠意対応していくように強く要請しています。町としても引き続き、本事案の経緯を明らかにすべく、全力で対応していく考えです。

町が事業者を選定して出店販売していることから、私自身、今回の事案発生を大変重く受け止めております。江差町のブースでアワビを購入された方はもとより、オータムフェストを楽しんでいただいたたくさんの観光客や、出店した他の自治体やその事業者、主催者側の皆様、さらには今回の事案に関係のない江差町内の事業者、報道を目にして心を痛めている町民や議員各位に対して深くお詫びを申し上げます。大変申し訳ありませんでした。

今後の対応についてですが、「ハーベスト江差」に関しては、今後一切江差町が関係するイベントや物産販売などには出店させないほか、また、次年度以降当面の間、江差町としてオータムフェストには出店しない考えでおりますことを申し添えさせていただきます。